

Bass Station II

Librarian ユーザーガイド

目次

はじめに	3
OS の互換性について	3
Bass Station II Librarian	3
概要	3
Librarian からパッチを転送する	3
Bank と Folder を使用する	4
Librarian から Bass Station II へ Bank 全体を転送する	4
Bank から Bass Station II へパッチのサブセットを転送する	4
工場出荷時の状態に戻す	4
Bank 内のパッチの順番を変更する	4
パッチを Grab する	4
パッチのリセットと Init Patch について	4
パッチに名前を付けて分類する	4
パッチを検索する	4
SysEx をインポート / エクスポートする	5
SysEx をドラッグアンドドロップする	5

商標

Novation は Focusrite Audio Engineering Limited の登録商標です。

Bass Station II は Focusrite Audio Engineering Limited の登録商標です。

Sony/Philips Digital Interface (SPDIF) は Sony Corporation and Philips Electronics の商標です。

VST は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。

Audio Units (AU) は Apple, Inc. の商標です。

RTAS は Avid, Inc. の商標です。

2010 © Focusrite Audio Engineering Limited. 禁無断転載。

免責事項

Focusrite は、本ガイドに記載されている情報が正確で完全であることを保証するために可能なすべての措置を講じています。いかなる場合でも、Novation は、本マニュアルまたは記載されている装置の使用に起因する装置、第三者または装置の所有者に対する損失または損害についていかなる責任も負いません。本書に記載されている情報は、事前の予告なしに変更することがあります。仕様および外観は、リストおよび例示されているものとは異なる場合があります。

はじめに

Bass Station II Librarian は、オンラインおよびオフラインでシンセパッチの管理が行える強力なツールを提供する専用ソフトウェアです。

注意：本マニュアルの趣旨は Librarian で使用可能なソフトウェアの特長を解説することであり、シンセサイザー自体の個々のパラメータについての詳細な解説を提供するものではありません。より詳細な説明は *Bass Station II ユーザーガイド* を参照してください。

注意：Bass Station II は広いダイナミックレンジのオーディオを生成することができますが、ダイナミックレンジが高すぎる場合、スピーカーやその他の機器への損傷、さらには聴力障害を引き起こす危険性があります。

OS の互換性について

Macintosh

OS X 10.9 Mavericks、OS X 10.8 Mountain Lion

Windows

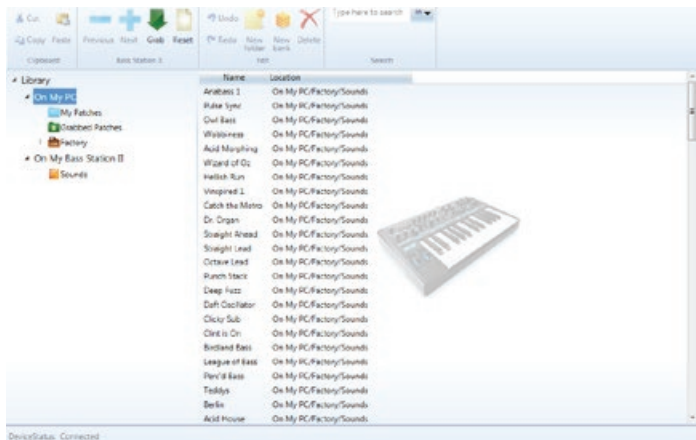
Windows 8.1、Windows 8、Windows 7

互換性の詳細については、[www.novationmusic.com/Bass Station II](http://www.novationmusic.com/Bass_Station_II) を参照してください。

BASS STATION II LIBRARIAN

Librarian は、シンセパッチの保存や編集を行うことができる専用のソフトウェアで、Bass Station II 内部のパッチ管理システムを使用するよりもはるかに簡単にパッチの管理を行います。

Librarian は、**Start > All Programs > Novation > Bass Station II > Bass Station II Librarian** (Windows) および **Applications > Bass Station II Librarian** (Mac) の順で起動します。したがって、Librarian の動作にその他のアプリケーションの実行は必要ありません。



概要

Librarian のウィンドウは標準的なファイル管理画面で構成されており、左側のペインにはフォルダがリスト形式で配置されており、右側のペインにはファイル（この場合パッチ）がリストされています。

フォルダシステムは、コンピュータに保存されたパッチ (**On My PC** または **On My Mac**) と、Bass Station II に保存されたパッチ (**On My Bass Station II**) の 2 つに分けられています。パッチ名に加えて、パッチのファイルの保存場所を示すパスネームも一覧になっています。

On My PC または **On My Mac** フォルダにはさらに以下 3 つのフォルダが含まれています：

- **My Patches**– 残しておきたいパッチを保存する場所です。–**My Patches** アイコンを右クリックして **Create Folder** を選択し、**My Patches** 内にさらにフォルダを作成して名前を付けることができます。
- **Grabbed Patches**–Bass Station II から保存されたパッチが配置されています。
- **Factory** – Bass Station II の工場出荷時のオリジナルパッチの全てのバックアップコピーが含まれています。これらは変更が加えられないようになっているため、Bass Station II 本体でオリジナルパッチに上書きを行なってしまった場合にも使用することができます。このフォルダには 1 つのバンクが含まれています。

On My Bass Station II フォルダには、Bass Station II に現在保存されているパッチが含まれています。これらのパッチは、接続時に Librarian 上で確認することができます。このフォルダには、シンセ本体に適合するよう 128 のパッチを含んだ 1 つの bank が配置されます。

注意：初回接続時には、Librarian が Bass Station II と同期を行うために最大 20 秒ほどかかります。

Librarian からパッチを転送する

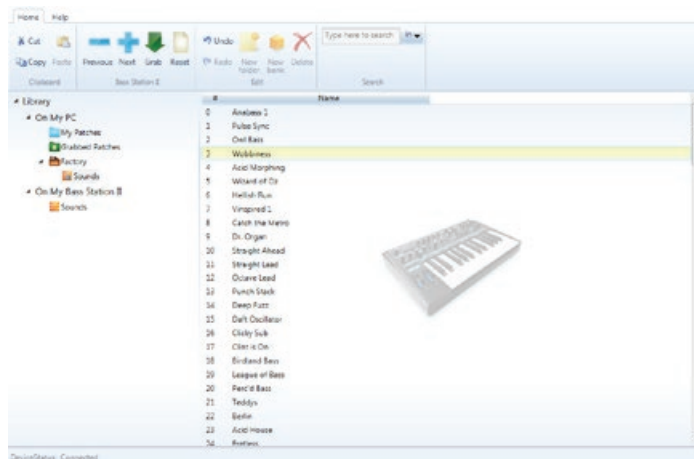
右側のペインの任意の項目をダブルクリックすることで、いかなるフォルダのいかなるパッチも、Bass Station II に直ちにロードされます。(一回のみクリックを行うと、リスト内のパッチが選択されます)。

On My PC または **On My Mac** からパッチをロードしても、そのパッチに対応する設定にシンセが構成されるのみであり、Bass Station II 上のパッチメモリの上書きは行われません。 **On My Bass Station II** にリストされているパッチを選択することで、ハードウェア上に保存されたパッチをロードします。

Bass Station II のディスプレイには、現在のパッチが本体上に保存されているものからではなく、Librarian から受け取ったものであることを示すために 3 つの (–) ダッシュを表示します。元のパッチは正しい位置に保存されたままとなっています (もちろん、Bass Station II の保存機能を使用して上書きすることも可能です。詳細は *Bass Station II ユーザーマニュアル* を参照してください)。

注意：Bass Station II 上の **PATCH** ノブを動かすことによって、ハードウェアに保存されている次のオリジナルパッチと共にシンセにロードされるパッチをスクロールします。したがって、Librarian からロードされるパッチよりも優先されます。PATCH つまみはソフトウェア上のパッチリストの制御は行わず、Bass Station II に保存されているパッチを制御します。

ヒント：ツールバー上の **Next (+)** および **Previous (-)** キーを使用することで、一連のパッチを順番に聞いてみるすることができます。最初のパッチをダブルクリックして Bass Station II にロードし、必要に応じて **Next** と **Previous** を使用してください。



Bank と Folder を使用する

Bass Station II の内部パッチは Bank に配置され、1つの Bank が **Factory** フォルダと **On My Bass Station II** フォルダに割り当てられて Librarian で表示されます。これらの Bank を「Sounds」と呼びます。

• Bank アイコン：



My Patches に新しい Bank を作成し、128 のパッチのための新しいフォルダとして使用することも可能です。Bank には自由に名前を付けることができます。パッチ管理に Bank を使用することで、以下のような利点があります：

- 1 回のアクションで Bank 全体を Bass Station II にアップロードが可能
- Bank 内でパッチが特定のパッチ番号を割り当てられることによって、ライブパフォーマンス用のセットリストの作成が可能

• Folder アイコン：



フォルダを含むことのできるパッチの数に制限はありませんが、さらなるフォルダを含むことで、一般的なコンピュータファイル管理システムと同じように、ご自身が使いやすい形で整理することができます。しかし、フォルダ内のパッチは特定のパッチ番号と関連づけられていないため、フォルダ内のパッチの順序を変えることはできません。

注意:左側のペイン上のバンクを意味するアイコンは、フォルダを意味するアイコンとは異なります。

Librarian から Bass Station II へ Bank 全体を転送する

左側ペインでアップロードを行う Bank を選択し、**My Bass Station II** 内の Sounds Bank にドラッグすることで、簡単に Bank 全体の転送が行えます。新たな Bank に含まれるパッチは Bass Station II と同じ位置に転送されるため、Bass Station II の内部 Bank の以前の内容が上書きされてしまう点にご注意ください。

Bank から Bass Station II へパッチのサブセットを転送する

Bank のパッチのサブセットを Bass Station II にロードすることも可能です。Shift/Ctrl/Command キーを使用して（複数の場合、必要に応じて）右側のペイン内のリストからアップロードしたい全てのパッチをクリックします。次に、選択したサブセットを右側ペインから Sounds Bank にドラッグします。Sounds bank 上にポインタを合わせると、そのプリセットのリストが右側のペインに表示されます。最初のパッチを配置したい位置にポインタを移動して、リリースしてください。転送されたパッチは、選択された位置から Bank に順番に配置され始めます。

工場出荷時の状態に戻す

Factory フォルダ (**On My PC** または **On My Mac** 内) には、工場出荷時にロックされたパッチセットが常に含まれているため、Factory Sounds Bank を **On My Bass Station II** 内の Sounds Bank にドラッグすることで、Bass Station II を工場出荷時の設定に簡単に戻すことができます。

Bank 内のパッチの順番を変更する

On My PC または **On My Mac** 内の User Banks のパッチは、順番に配置しておくことで便利です。ライブパフォーマンスで Bass Station II を使用する場合、使用する順番に配置しておくことで良いでしょう。

Bank 内のパッチの順番を変更する際は、右側のペインリスト内の移動したいパッチをクリックし、新たな位置にドラッグしてください。移動した位置より上に配置されている全てのパッチは、1つ下に移動されます。

パッチを Grab する

Bass Station II の現在のパッチは、ツールバー上の **Grab** アイコン（大きな緑の矢印）をクリックすることでいつでも Librarian に保存することができます。これにより、**New Patch Received** と示されたダイアログボックスが表示されます。

現在のパッチが **Grabbed Patches** フォルダに転送されると、任意の名前に変更したり、**On My PC** または **On My Mac** 内の別のフォルダや Bank の場所にドラッグすることが可能です。

このようにパッチを Grab することによって、一から作成したパッチや、工場出荷時のパッチを編集して作成したパッチに関わらず、現在使用しているサウンドを迅速に保存することが可能となります。工場出荷時のパッチは常に Librarian から使用することができるため、編集を行わずにそのままの状態でも Grab を行ってもあまり意味はありません。

パッチのリセットと Init Patch について

一からオリジナルのサウンドを作成する場合には、Init Patch を使用すると良いでしょう。Init Patch は、フィルターやエンベローブ、モジュレーションが一切適用されていない、基本的な単一ノコギリ波のオシレーターサウンドです。Bass Station II の Sounds Bank 内の Patch 70-127 には Init Patch の 58 のコピーが保存されています。**Factory** フォルダ内の Sounds Bank には同じセットが含まれます。

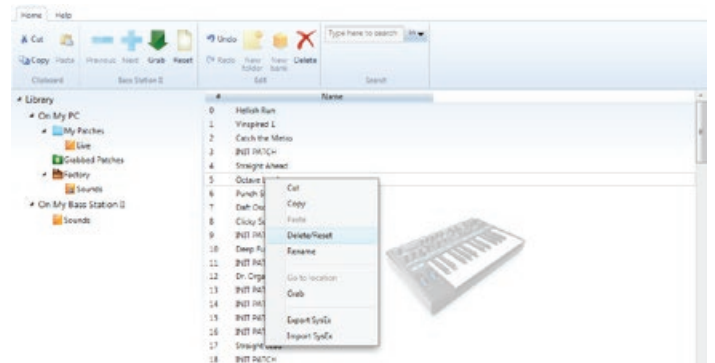
この手順は Librarian の別の場所から他のパッチをロードする場合と本質的には何も変わりません。Init Patch のパラメータは、ツールバー上の **Reset** アイコン（「New document」と類似）をクリックすることにより、Bass Station II に転送されます。他のパッチをロードする際と同様に、3つのダッシュ (---) が Bass Station II のディスプレイ上に表示されますが、パッチは Init Patch と名付けられません。元のパッチ位置にあったものは上書きされません。

希望のサウンドが作成できたら、既に述べたような方法で Init Patch を編集したものをグラブし、Librarian に保存することが可能です（「パッチを Grab する」ページ 4 参照）。

Reset ボタンの使用は Librarian のいかなるフォルダや Bank にも変更を加えず、Init Patch のコピーの Bass Station II へのロードのみが行われます。

Librarian の Bank 内のパッチは、異なる手順を踏むことで Init Patch にリセットすることが可能です。これにより、不要なパッチが Bank から完全に削除されます。Init Patch にリセットしたいパッチを選択して右クリックし、ポップアップメニューから **Delete/Reset** を選択します。これにより、選択したパッチが Init Patch に上書きされます。この手順は Bass Station II 自体にはいかなる変更も与えないため、このパッチと全ての現在の設定には変更が加えられません。

同じ方法で、フォルダに保存されているパッチを **Delete/Reset** コマンドで削除することができます。

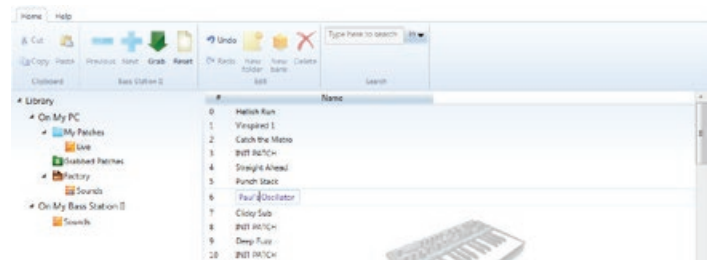


メモ: **Undo** ボタンと **Redo** ボタンをツールバー上で使用することができます。これらのボタンを使用することで、Librarian 内のパッチを意図せず削除またはリセットしてしまった場合、元に戻すことが可能です。キーボード上で通常のショートカットキーも使用できます。全ての Undo 履歴は Librarian が閉じられると直ちに失われますのでご注意ください。**Delete/Reset** コマンドを使用する際は、意図せずサウンドを削除してしまわないよう注意する必要があります。

パッチに名前を付けて分類する

パッチを Grab した場合には、名前を変更しておくことで良いでしょう。（いかなるフォルダ / Bank 内でも）パッチ項目上で右クリックすることで、ポップアップメニューが開かれ、**Rename** を選択します。これによりパッチ名が青に変化するので、変更したい名前を入力します。入力が終了したら、フィールドの外側をクリックするか、キーボード上の Return キーを押して確定させます。Bass Station II 自体に保存されているパッチ名も同じ方法で変更することができます。

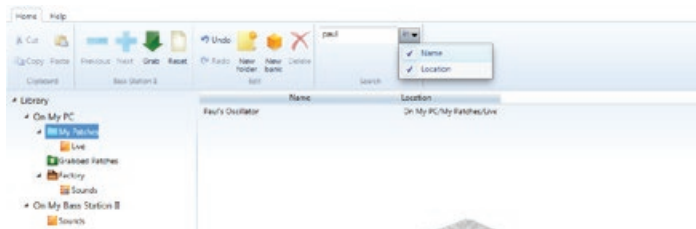
名称の変更と分類は、いかなる **My Patches**、**Grabbed Patches** フォルダ、Bank のパッチでも実行することができます。



パッチを検索する

Librarian にはリアルタイムに実行できる Search 機能が備わっており、検索条件を入力することで、そのテキストが含まれる様々なフィールドに保存されているパッチを表示することができます。

検索するテキストをツールバー上の **Type here to search** ボックスに入力します。矢印をクリックしてドロップダウンリストを開き、検索条件が適用されるフィールドを選択します。パッチの **Name** および **Location** によって検索が可能です。パッチのサブセットが表示されたら、その後通常通りに使用することができます。



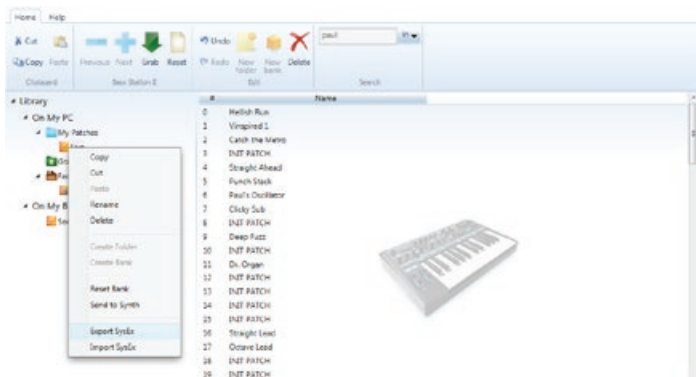
ヒント：Search 機能によってサブセットを検索した際、**Next (+)** キーと **Previous (-)** キーを使用して順番に試し聞きを行います。「Librarian からパッチを転送する」を参照してください。

ボックス内でクリックしてからキーボードの **Backspace** キーを使用することで、Search 条件のテキストを1文字ずつ削除することが可能です。また、テキストを選択し、**Delete** キーを押すことによってもクリアすることができます。検索テキストが削除されると、選択されたフォルダ内の全てのパッチ一覧が自動的に表示されます。

注意：Search 機能は **My Patches** フォルダまたは **Grabbed Patches** フォルダ内のみで操作を行います。**My Patches** のサブフォルダでも操作できますが、Bank 内のパッチに対しては機能しません。

SysEx をインポート / エクスポートする

パッチを MIDI SysEx (*.syx) ファイル形式で Librarian にインポートしたり、Librarian からパッチをエクスポートすることが可能です。左側のペインからフォルダ / Bank 全体を選択するか、右側のペインで Shift キーまたは Ctrl キーを使用してパッチを選択することによって、パッチのサブセットをエクスポートすることが可能です。フォルダ / Bank またはパッチを選択したら、右クリックでポップアップメニューを開き、**Export SysEx** を選択します。次に、通常通りの方法で *.syx ファイルを保存するファイル名と場所を選択してください。



SysEx ファイルのインポート手順もほとんど同じ方法です。フォルダまたは Bank 内にファイルをインポートする場合は、左側のペインでインポート先を選択し、右クリックから **Import SysEx** を選択し、インポートするファイルを選択してください。

注意：フォルダに対してインポートされた全てのパッチは、右側ペインに表示されているパッチリストの一番下に追加されます。Bank に対してインポートされた全てのパッチはパッチロケーション 000 から順番に追加されます。

Bank の特定の位置にパッチをインポートする場合には、まず（右側のペインで）最初のパッチをインポートしたいパッチロケーションを選択し、次に右クリックで **Import SysEx** を選択します。インポートを行う *.syx ファイルを選択してパッチのインポートを行います。ファイルに複数のパッチが含まれている場合、最初のパッチが選択した位置にロードされ、その他のパッチもそれに続いて順番にロードされます。パッチを Bank にインポートすると、その位置に保存されている既存のパッチが上書きされるため、ご注意ください。

SysEx をドラッグアンドドロップする

Import/Export SysEx コマンドに加えて、フォルダ、Bank またはパッチを選択し、左クリックしたまま Librarian ウィンドウからコンピュータのデスクトップ上や任意のフォルダ内にドラッグすることも可能です。**Export SysEx** のショートカットとして便利です。

同様に、*.syx ファイルを Librarian にドラッグアンドドロップすることも可能です。ファイルを Bank にドラッグしたら、パッチをロードしたい場所にポインタを動かします。リリースしたら、パッチがポインタの位置を開始点として、直接その Bank にインポートされます。